



福祉のひろば

《スローガン・見守り、声かけ、身近に寄り添う真野学区!》

ご挨拶 「コロナ禍での社協事業について」

真野学区社会福祉協議会 会長 井上俊生

- 令和2年から続く新型コロナウイルスの感染は、春以降減少傾向にありましたが、7月に入り急激に感染が拡大し、大津市でも千人/日を超える最悪の状況となっています。
- こうしたなかで社協は久しぶりに「お元気サロン」を開催いたしました。
- 社会の外出抑制による閉塞感を少しでも和らげる事を目指し、「うつらないうつつさない」事を優先に、高齢者の方々のふれあいの場として開催いたしました。
- 減少傾向にあるとはいえ、本当にお越しいただけるのか内心、心配をしていました。
- 受付を終え、会場に続々と笑顔でお入りいただき参加者の方を拝見し、開催できた事に万感の思いでお迎えをしていました。
- 今回の開催は、民生委員児童委員、

福祉委員、社協役員と事務局の方々の「再開」に寄せる熱意に支えられての事と心から感謝とお礼を申し上げます。

■一方、「サマー塾」については、大勢の参加申し込みをいただきながら開催直前に「中止」とさせていただきました。市内学校教育施設での急激な感染拡大から、子どもの感染を防止する為の判断でありました。子どもさんや、保護者の方からの残念の声をいただきましたが、子どもを守るための措置でありましたので、ご理解をお願いします。

■「お元気サロン」「サマー塾」が真野学区の中で一定の評価を得ている事を考えますと、今後の事業実施については、コロナの感染状況に翻弄されるのではなく、「感染防止」「事業実施」を両立する「ウィズ・コロナ」の活動スタイルを検討してまいります。今後共にご支援ご理解をお願いいたします。

お元気ご長寿さん

川端宣枝さん

昭和3年12月18日生まれ(満93歳)
大津市真野一丁目在住



- 伊香立生津で3姉妹の次女としてお生まれになりました。
- 昭和23年3月に師範学校を卒業し、翌4月に真野小学校教諭として奉職されました。当時は伊香立から真野までの道のりを毎日徒歩で通勤されていたそうです。昭和33年4月に堅田小学校へ、それから平野小学校、下阪本小学校の教諭を経て、昭和56年3月に定年を待たずに33年間の勤務を終えられました。
- また、平成元年12月から平成10年11月までの3期9年間、民生委員児童委員として中村を担当地区として活動されました。当時は真野地区で初めての女性民生委員児童委員さんでした。
- その傍ら、孫の守りと成長を楽しみながら、

ゲートボールやグランドゴルフにいそしみ、地域のみなさんのお仲間に入れてもらって、あちこちの試合に積極的に参加され、遠くは鳥取県の羽合温泉にも遠征されたそうです。

■そして昭和50年頃から趣味で始められた茶道や華道も、裏千家と池坊の家元からそれぞれ師範の免許を授与されました。自宅で開いたお稽古教室は、ご近所や知り合いの方々とのふれあいの場となり、日々の生きがいや最大の楽しみにつながっていったそうです。

■今日では、ディサービスを利用しながらご家族と楽しい日々を送られています。

「高齢者・児童虐待とその予防」

～地域に期待すること～

- コロナ感染が減少傾向にある5月28日(土)特定非営利活動法人あさがお所長、中原一隆氏を講師にお迎えし、民生委員児童委員と福祉委員による「高齢者、児童虐待とその予防」について合同研修会を開催いたしました。
- コロナ禍の色々な制限のあるなかで、高齢者には以前のようなふれあいや交流の機会が減少し、家に引きこもったままの生活が広がっていました。
- 子ども達も、外で自由に友達と遊ぶ機会も減少し、家にこもる時間が多くなっています。これらが要因の一つになり、以前にも増して「虐待」事案が多くなっています。



虐待を受ける高齢者や子どもの救済に、日々ご尽力されている中原氏から、現況と課題を詳細に説明いただき、地域福祉の担い手である我々が学ぶ事

で、地域力として果たすべき役割についての研修をいたしました。

■重たいテーマで、始めは戸惑いもありましたが、身近な虐待事例を紹介いただき、日々の生活のなかでの行動や会話から悲惨な虐待につながっていくとの説明に衝撃を受けました。

■幸い真野学区には、大事に至る事案はありませんが、我々の訪問や見守り活動から、本人や家族のサインに「気づく」ことが重要であることを学びました。



～3年ぶり開催～

- 7月7日に「お元気サロン」を三年ぶりに開催しました。過密回避のため、今回は参加地域を二つのグループに分け、夏、秋と同じ内容で二回開催する事になりました。
- 夏のサロンは、中村、駅西口、中村が丘、谷口、レークパレス地区の33名の皆さんの参加をいただきました。会場への送迎は、観光バスを用意しました。参加者からは、綺麗でゆったりと涼しい車内で観劇ツアーに出かけるようなワクワクした気持ちになったと、とても好評で喜んでいただきました。
- 会場は、夏らしく花火の舞台背景に7月7日七夕にちなみ七夕飾りの笹を準備しました。参加者に童心に帰って短冊に、思い思いの一言や願いを書いて、笹につけていただきました。
- 第一部は、真野あんしん長寿相談所の皆さんによる健康講座。室内における転

倒防止について、足腰の筋力を保ち、骨を強くする運動や、栄養面ではカルシウムやビタミン摂取の大切さ、手摺の設置など住環境改善の進め方のお話がありました。続いて硬くなった体をほぐす軽体操を全員で行い、和みの輪を作っていただきました。

■第二部は、近江落語会の皆さんによる真野寄席を開催しました。一席目は、「福々亭ポン太」さんの、長屋住まいの甚兵衛と目医者が織りなす治療風景。二席目は、「三遊亭志ば落」さんの、ひょうきん者と旦那による長崎名物「元祖チリテチン」を巡る騒動。三席目は、「ねっと家小骨」さんの、ギター漫談。

■最後に、♪さようなら・さようなら元気でいてね…♪と都はるみの「好きになった人」の替え歌を全員で合唱、三年前と変わらない華やいた雰囲気スタッフ一同ホッとすると共に感動を覚えるサロンとなりました。

敬老月間 「友愛訪問」

- 今年も敬老月間がやってきました。
- 真野学区社協では「友愛訪問」を10年ほど前から取

り組んでいる事業です。

●入院や施設入所の方を除いて在宅でお暮らしの88歳以上のお宅を、福祉委員、民生委員児童委員と訪問しています。今年は150名の方が対象です。

●豪華な贈り物は出来ませんが、長寿のお祝いの気持ちを込めて、今年も福祉委員などによる鶴と亀の手作りセットを

贈り物に添えることが出来ました。特に磁石を縫いこんで金属にくっつく亀は、手の込んだスタッフの力作です。

●喜んでいただけると嬉しいなと心を弾ませ袋詰めをしました。



各地区のふれあいサロン

浜 湖辺のサロン

■コロナ禍が少し落ち着いた7月9日「湖辺のサロン」を開催しました。

■講師に、大津市ボランティアグループ「Sボラ4」の皆さんをお迎えしました。まず「きよしのズンドコ節」の曲に合わせて健康体操で心地よい汗を流しました。続いて、バルーンアート作り、子どもの頃よく遊んだ風船と吹きや、当時と違ってゴムもしっかりしていて、思いのほか創作に、手先の力が必要で少し手こずりましたが、丁寧な手ほどきを受け頑張った甲斐あって、素敵なアートが出来上がり、嬉しいお土産となりました。

■秋こそ、ご馳走付きのサロンが開催できるよう願いつつ、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



東浦 ふれあいサロン

■うぐいす会のメンバーに呼びかけて、「介護予防サポーター応援講座」を7月12日、自治会館で開催しました。

■この講座は、大津市長寿政策課の呼びかけで、開催団体の募集があり、応募しました。

■まず、福祉委員が事前のお試し講座に参加して検討しました。結果、取り組む事になり、採用されました。

■この講座は、3回シリーズでテーマは「介護予防」「体力測定」「フレイル（虚弱のチェック）」で構成されています。現在と一年後の身体的状況の観察も含め少し長めの講座です。

■大津市からは、理学療法士、保健士、担当職員の3名が1チームとして来られ、握力測定、片足立ち、椅子での前屈、5m歩行等がメニューで、くつろいだ雰囲気が進められ1回目の講座は終わりました。2回目は、秋に開催予定です。

自分に合った運動を選択し
毎日無理なく行いましょう!!



大野団地 ふれあいサロン

■快晴の6月19日、「モルックゲームでリフレッシュ」をテーマに児童公園で開催しました。

■三世代に渡る多くの参加があり賑わいました。

■まず、体温測定、手指消毒、マスク着用とコロナ対策を施し、ゲームスタート、ピンを倒すボーリングによく似たゲームです。お目当てのピンが倒れると「やったー」「ナイス」の歓声が飛び交い、コロナ禍における運動不足の解消と、心のリフレッシュを兼ねたスポーツ、モルックゲームで、楽しいひと時を過ごしていただきました。

■モルックゲームについて簡単に説明します。このゲームは、フィンランド発祥の新しいスポーツです。公園やビーチで気軽に出来る、個人やチームで楽しむアウトドアスポーツです。モルックと呼ぶ長さ20cm位の木棒を下手から投げ、3.5m前方に置かれた番号1から12のスキットル（ピン）を倒し点数を競います。

■例えば、一打目番号12のスキットル（ピン）だけを倒すと12点、同時に数本倒れますと倒れた本数が点数となります。3本倒れると3点です。倒れたピンはその場に建て直し、再挑戦、最初にピッタリと50点となった個人又はチームが勝ちです。50点を越えた個人又はチームは25点から再スタートとなります。

■このゲームは、体力に関係なくゲーム感覚で気軽に楽しめます。気分転換や運動不足解消になります。各



地区のふれあいサロンで導入されたいかがでしょうか。

福祉委員のひとこと

谷口地区福祉委員 日花万喜子

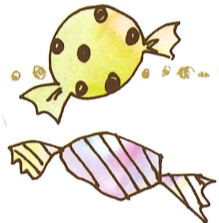
■コロナ禍の影響で残念ながら谷口地区でのサロン開催は長らく出来ませんでした。

■そんな中、学区社協主催の「夏のお元気サロン」のお誘いに町内を回らしていただいたところ「市民センターまでよう行かんけど谷口でしてほしいわ」との声をたくさんいただきました。

■又、「夏のお元気サロン」に参加された方からは、「行ってよかったわ、ありがとう」との温かい声をいただき嬉しく思いました。

■今回の訪問で何気ない世間話から地域の情報が得られ活動に結びつくヒントがあり、大切さを感じました。自分自身が日々時間に追われる中で、企画にとられずに出来ることを実践できればいいなと考えています。

■今後のコロナ禍の状況を見ながら地区でのサロンの開催に向けアクションを起こして行こうという気持ちが高まってきました。



福祉委員をお引き受けして

サカエ地区福祉委員 宇野恵子

■10軒足らずのサカエ自治会に入会し、入会と同時に福祉委員を引き受けることになりました。

■福祉委員って何をやるの？まずここからが始まりでした。

■会議に出席して、地域で行われている福祉活動を初めて知ることになりました。そしてもっと地域のことを知りたいと思うようになりました。

■ひとりでは何も出来ませんが、地域の皆さんと共に出来ることを取り組んで行けたらと思っています。



令和4年度役員・委員

真野学区社会福祉協議会

顧問	上田 駒一郎	副会長	濱本 昌嘉
参与	中村 星二	会計	岡本 新次
参与	瀬津 久雄	事務局長	川端 俊司
会長	井上 俊生	事務局員	西條 久代
副会長	尾木 八重子	事務局員	今井 真知子
副会長	濱本 久夫		

真野学区福祉委員紹介

担当地区	委員名	担当地区	委員名
中村	瀬津 誠一郎	大野	本城 美由紀
	村上 武史		小林 妙子
	川端 典子		小谷 由紀子
沢	瀬津 綾子	大野団地	山根 豊三
	田中 由加		岩佐 純治
	西條 恭子		石橋 恵子
浜	都 喜代子	家田	西川 由加里
	岡本 明佳		上野 純子
	松井 亜希子		谷口 日花万喜子
東浦	延原 良子	中村が丘	伊塚 郁子
	波田 恵美子		今井 周五
	杉岡 久江		竹端 清一
北村	日置 よし子	駅西口	笠谷 美保
	浜田 京美		荻田 明
	井上 千鶴		安井 昭
普門	馬場 一美	レークパレス	西 幸恵
	早川 有里		宇野 恵子
	高間 陽子		
佐川		サカエ	

活動の一角



草の上で
そり滑り



ツツジ咲く
まんだら山
登山

●コロナ禍で地域の皆さんとのふれあい活動は控えています。そんな中、真野幼稚園の園外活動にご一緒しました。それは歩き遠足です。道中の交通安全、目的地でのお遊び、ケガや事故防止などの見守りです。元気いっぱい園児との交流は心が和みます。

●3月と4月はまんだら山へ、山頂では、そり滑り、色々な木の実拾いに森の中を走り回り大はしゃぎでした。5月は、鯉のぼり祭りへ、園児の作った鯉が真野川沿いに優雅に泳ぐ姿に大きな歓声。草花摘みも

一生懸命、可愛い花束のお土産が出来ました。

●園児が真野の自然に触れ、また行事の参加により、色んな発見があります。同時に地域の皆さんとのふれあいで豊かな心を育ててくれることを願っています。これからも、積極的に園との交流を続けたいと思います。



元気に泳ぐ
鯉のぼり